

平成 28 年 7 月 28 日
首都圏空港機能強化の具体化に向けた協議会

2020年に向けた羽田空港の機能強化方策について

1. 国及び関係自治体は、羽田空港機能強化の必要性について認識を共有した。
2. 国は、関係自治体の協力も得ながら、昨年7月以降、2回にわたり住民説明会を開催し、住民に対して丁寧な説明を行ってきた。また、引き続き丁寧な情報提供を行う。
3. 国は、第1回協議会で羽田空港機能強化方策として提案した、「滑走路処理能力の再検証」及び「滑走路運用・飛行経路の見直し」の運用に際して実施する方策を第4回協議会で提示した。関係自治体は、本方策が、関係自治体からの要望や住民意見等も踏まえ、環境影響等に配慮した方策であると評価した。国は、引き続き、安全管理の徹底に取り組む。
4. 以上を踏まえ、関係自治体は、羽田空港機能強化に必要となる施設整備に係る工事費、環境対策費を国が予算措置することを理解した。
5. 国と関係自治体は引き続き協力して、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会やその先を見据え、環境影響等に配慮しつつ、2020年までに羽田空港の年約3.9万回の空港処理能力拡大の実現に取り組む。